

広報 たかのす

平成2年

6月15日

№. 674

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

TEL 0186 (62) 1111
FAX 0186 (63) 2586



伸びにのび～て ナント53.3㍎！

初夏の一大イベントとなった「第6回ふるさと踊りと餅っこ祭」が6月3日に盛大に行われ、汗ばむ陽気のもと多彩な催しで大にぎわいとなりました。今回の企画で大好評であったのがこの「餅のばし大会」。つきたての2升の餅を「できるだけ長く」と陣取った人たちは大奮闘。優勝はなんと53.3㍎でした。（関連記事6・7面に）

人口と世帯数

（住民基本台帳による）

5月31日現在		（前月比）
総人口	24,016人	（17人減）
男	11,684人	（増減なし）
女	12,332人	（17人減）
（出生	18人	転入 45人）
（死亡	18人	転出 62人）
世帯数	7,330世帯	（9世帯増）

者、大いに語る

も本当に知っていますか？

他力本願でなく自分で汗を！

町出身で首都圏に在住している人や町に関係ある誘致企業との「町出身首都圏在住者との懇談会」が、五月二十六日に東京都千代田区平河町にある麴町会館で行われ、東京鷹巢会の役員を中心に十八人が出席。中央から見た「ふるさと鷹巢」へのさまざまな提言がされました。町では実現可能なものから順次検討を重ね今後の施策や計画に組み入れて行く方針です。

この懇談会は、首都圏に在住する人たちが組織されている「東京鷹巢会」を中心に、生まれ育ったふるさととの二十一世紀に向けた豊かな町づくりへの提言と題して行われたものです。

これまでの東京鷹巢会と町との結びつきは、年一回の総会で顔を合わせる程度で、内容も交流、親睦が主であり、このような形で座談会をもつたのは初めてです。

二時半から始まった会の冒頭あいさつに立った出川町長は、現在建設中の「たかのす風土館」や三十三万八千余人

の署名をたずさえ運輸大臣に陳情した「大館能代空港」など、町の近況を報告して懇談会に入り、出席者からは「こんな事はどうだろう」「少しでも役に立つたら」と、予定していた時間が大幅にズレ込むほど、熱の入った会となりました。

「県北の運命をにぎる」とまで言われている空港関連や自由化されつつある農業、目の前に迫った高齢化問題など山積する諸問題に、ひとつの方向性を見いだした会合でもありました。

—概要は次のとおりです—

都会のマイナスが鷹巢のプラス

千葉さん「企業誘致も結構ですが、秋田県は農業県であるので農家が良くならないと県全体が幸せにならないだろうと私は考えています。そこで提案したいのですが、二部上場の「農業株式会社」を組

織して農家の二男、三男が背広を着て出勤できるような体制をとれないものか。農業を最大限に生かした方策が望まれる。

自分の息子には嫁は来ない、しかし農家には嫁にやりたく



第一線で活躍している人たちだけに懇談会は熱気にうつまれた

町出身 鷹巣の良士



小坂 隆雄さん(栄出身)
東京鷹巣会副会長
(財)中央果実基金協会事務局長



千葉 秀雄さん(沢口出身)
東京鷹巣会会長
秋田県人会連合会副会長



藤島 文行さん(坊沢出身)
東京鷹巣会副会長
株能代建設取締役社長



二階堂 剛さん(鷹巣出身)
埼玉小松フォークリフト株
取締役サービス部長



関 幸満さん(鷹巣出身)
イースタン・リース株
常務取締役



小笠原信弥さん(綴子出身)
株関東医学研究所
代表取締役

小坂さん「県内でも東北、とくに鷹巣周辺は一番不便な所と考えられ、一般的に「住みにくいイメージ」で見られているが、見方を変えると「すばらしさ」がいつぱい見えてくる。便が悪いと言われるが、夜行のバスを使うと仕事

を終えてから池袋から乗り、翌朝七時すぎには鷹巣に着くので一日有効に使うことができる。空港が出来れば一足飛びに地域格差が縮まるので、「少しでも役に立てば」と署名運動など各方面を駆けまわっています。なによりも地場産業の育成が基本であり、なんでもいので他に誇れる特色のあるものが望まれます。

都会では梅と桜が同時に咲くことなど考えられないし、内陸沿線の景観のすばらしさを「雪」をメインとしたスポーツなど、四季おりおりの気候風土の売り込みも検討してみたいかがでしょうか。

この種の会は三十代が集まりワイワイガヤガヤやるのが一番でないか。場合によっては一日鷹巣を見てもらい「さて」というのもいいのでは。小笠原さん「産業の活性化も大事であるがカタチのないものも必要と思う。たとえば

墨田区では大手企業不要論がでている。なぜか、従業員は区内に住まない。税金は都に持っていかれるなどで、区でも「地場産業の育成」をヤッキになっているのが現状。ある本で若者のアンケート結果を見た時、「住んでみたい県」で秋田は四六番目であった。秋田ってそんなに住みにくいということでしょうか。やはり、農業がよくなければダメです。

二階堂さん「都会に比べると鷹巣がよく理解できるように思える。先ほどから農業が引き合いに出されているが、時代のすう勢で自由化は避けれないと思うので、その時期が大転換期になると思うしアメリカ農業とは規模など、とても太刀打ちできるものではない。むしろ北欧型の酪農のほうが地形を生かせるのではないかと思う。

三つお話をさせていただきました。第一に「鷹巣のよさ」を町の人が本当に意識しているかなアということです。と言いますのは東京での不便さが、鷹巣の良さではないか。サラリーマンの買えるマンションが六千万、家族で遊びに行くとなると二時間かけないと郊外に出ない。また、学童の八割がアトピー性皮膚炎にかかっているし、若者の精神不安定が非常に多いですね。鷹巣に帰ると自然の豊かさを満喫しますが、町の商店街を見て確かにハード面ではい

いのですが、ソフト面でない劣っているなアというのが卒直な感想です。まず「暗い」入っても掛声ひとつない。シヨウウィンドーの陳列がいまいちで、せつかくのアーケードがソフト面について行っていない。活性化の面から言えば第一、三土曜日を一商店一品サードビスターにするような企画も必要になると思う。また、「無農薬作物を中心とする町」「花と健康の町」などをキャッチフレーズにする方法もあります。

を終わってから池袋から乗り、翌朝七時すぎには鷹巣に着くので一日有効に使うことができる。

都会では梅と桜が同時に咲くことなど考えられないし、内陸沿線の景観のすばらしさを「雪」をメインとしたスポーツなど、四季おりおりの気候風土の売り込みも検討してみたいかがでしょうか。

この種の会は三十代が集まりワイワイガヤガヤやるのが一番でないか。場合によっては一日鷹巣を見てもらい「さて」というのもいいのでは。小笠原さん「産業の活性化も大事であるがカタチのないものも必要と思う。たとえば

この種の会は三十代が集まりワイワイガヤガヤやるのが一番でないか。場合によっては一日鷹巣を見てもらい「さて」というのもいいのでは。小笠原さん「産業の活性化も大事であるがカタチのないものも必要と思う。たとえば



赤坂 侑子さん(綴子出身)
東京鷹巢会幹事



簾内 輝男さん(七座出身)
東京鷹巢会副幹事長
株式会社星通信建設代表取締役



佐藤 忠一郎さん(鷹巢出身)
東京鷹巢会副会長



田村 輝夫さん(栄出身)
東京鷹巢会副幹事長
化粧品訪販企業組合副理事長



簾内 隆一さん(七座出身)
東京鷹巢会副会長
産業教育センター



斎藤 京子さん(栄出身)
民謡歌手

情報のネットワーク作りを

そ町づくりの「原点」だと思

います。

う」とする人は一人もいない。赤坂さん「ふるさと便を交流の場に」と出席させていただき、猛然とふるさとに対する想いがわき、「まず綴子会から」と会を組織したのが東京鷹巢会につながったものとうれしく思っております。

遠くから鷹巢を見ていると歴史的なもの、自然のすばらしさを感じますし大太鼓の館を中心とした各施設を生かし東京と鷹巢が協力すれば、観光の町としても生きて行けると思います。

簾内(輝)さん「世の中」やレジャーだリゾートだ」と騒いでいますが、これで活性化や町づくりが出来るのでしょうか。他人のフトコロをあてにしたやり方、考え方に疑問をおぼえます。

私は額に汗を流し、一生懸命働こうとする姿、考え方こ

佐藤さん「鷹巢に帰るたび

ごとに町の変貌ぶりにビックリします。よく旅行されると思いますが本当に活性化を図りたければただ遊びに行くのではなく、なにかしら得るような心がけがないといけないと思う。

東北四大祭りの時期に合わせ「館」広場で、一大物産展を開くこともいいと思うし、センプリは薬品として最高のものなので、米だけにしがみつくとなく、人のやっていないものを作りだす必要があるのではないか。

田村さん「私が東京に出てきたのは昭和三十一年で、日本の産業構造が上昇に向う少

し前でした。当時、私たち二、三男は東京に出るしか方法がなかった。当時の農村意識が現在の問題を招いたのではないかとというのが私の視点です。当時は田舎に人をおかなか

った。言葉を変えれば「やっかい者」であり「出る」しかなかった。それが今では長男までとなってしまう。これは秋田だけの問題でない。都市は「やっかい者」でも抱え込んでくれたことが、今日の繁栄をもたらしたのだ。

いまは情報が「金」になる時代になった。情報を「金」にするには東京に鷹巢事務所を作ってもらいたい。またスポーツを媒介とするイベント

が増えていますが、PR効果には最もいいのではないかと。

簾内(隆)さん「活性化のため全国的に模索をしているが、企業誘致もすべて成功している訳ではなく、中には失敗例も沢山ある。

その町の社会資本や文化性が企業を支える力となっているか、地元高校の偏差値までが企業進出のパロメーターになるし、道路、下水道、産業廃棄物終末処理などさまざまな角度から誘致を考えなければならぬ。

ただ「来てくれ」だけでなく、しっかりとフォロワーがないといけない。成功している例を参考としたらよい。

斎藤さん「私は幼少のときよりいませんでしたが、ふるさとやはり「鷹巢」です。民謡歌手としてがんばってききましたが、「民謡だけ」とい

イメージソングなど、心の寄りどころとなりみんなが心をひとつになることも活性化につながると思います。

在京のふるさと会を開いたとき、景品に町の「物づくりグループ」を作ったものを使ったらとても喜ばれた。おみやげには綴子、沢口婦人会の焼モチを出したらアツというまになくなるほど好評でした。

「田舎がいい」とほめるのは簡単ですが、しかればリアア(退職)してから「帰ろ

う訳に行かなくなりトーク番組や料理番組などにも出演しています。

秋田の民謡といえば「秋田おぼこ」ですが、鷹巣には「鷹巣盆唄」があるので「東京で鷹巣の盆踊り」というのもいいと思うし、郷土芸能や大鼓など民俗的な部分をアピールするのいいと思います。

菊地さん「町発展のための基本コンセプトは、なにをテーマとして町づくりを進めるかだと思いますので、私は「



菊地 靖孝さん(鷹巣出身)
東京鷹巣会幹事
ヤマギワ株式会社取締役事業部長



伊藤 信直夫人
(伊藤さんは鷹巣出身で彫刻家)

町民の幸福、町の活性化」をテーマとしたい。そのためのキーワードは「ヒューマンライフアップ」で、「ヒューマンライフアップ」とし、失われつつある人間性の回復、快適生活と生きがいのある人生をいかにできるかが大きなポイントになります。そして、めざすターゲットは「健康で豊かな暮らし、文化の創造と建設」だと思います。そのため、国や県が市町村にどのような政策を持っているか、鷹巣を含めた県北がどのような立場にあるのか、しっかり把握する必要があります。十年、二十年の中長期ビジョンを持たないといけない。

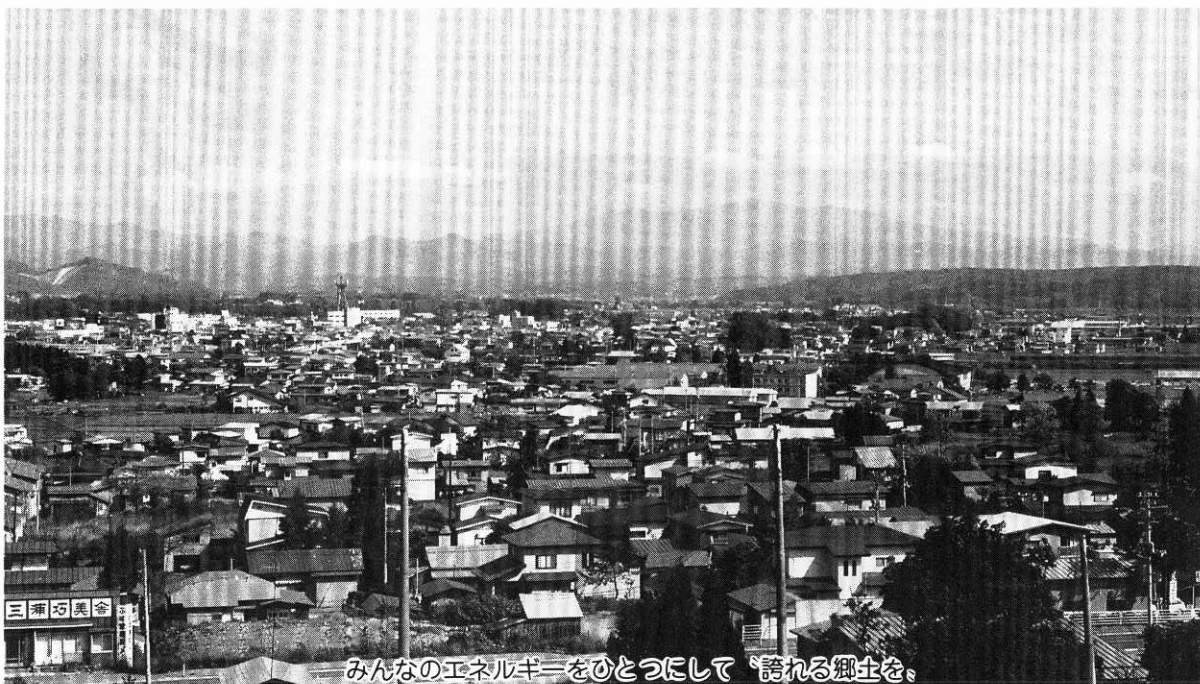


小塚 茂さん(沢回出身)
東京鷹巣会幹事長
全林野中央本部

あります。どの角度から考えましても鷹巣がなにを基幹産業とするかが基本であり、基本がなければ枝葉が伸びません。やはり「米」「木材」が中心となるべきだし、秋田米は都会ではとても喜ばれています。町の広報を送っていただいておりますが、町民がどう考えているか発表するスペースがあってもいいのではないかと。神成さん「会社を創業して十五年たちましたが、いつも頭の中には鷹巣があり毎年一回は帰っています。いつも「ふるさと」は心から離れることはありません。あと二十年もすれば日本は世界最高の高齢者国になるので、それをどうとらえ、いかに対応するかもひとつの町づくりのコンセプトになると思います。

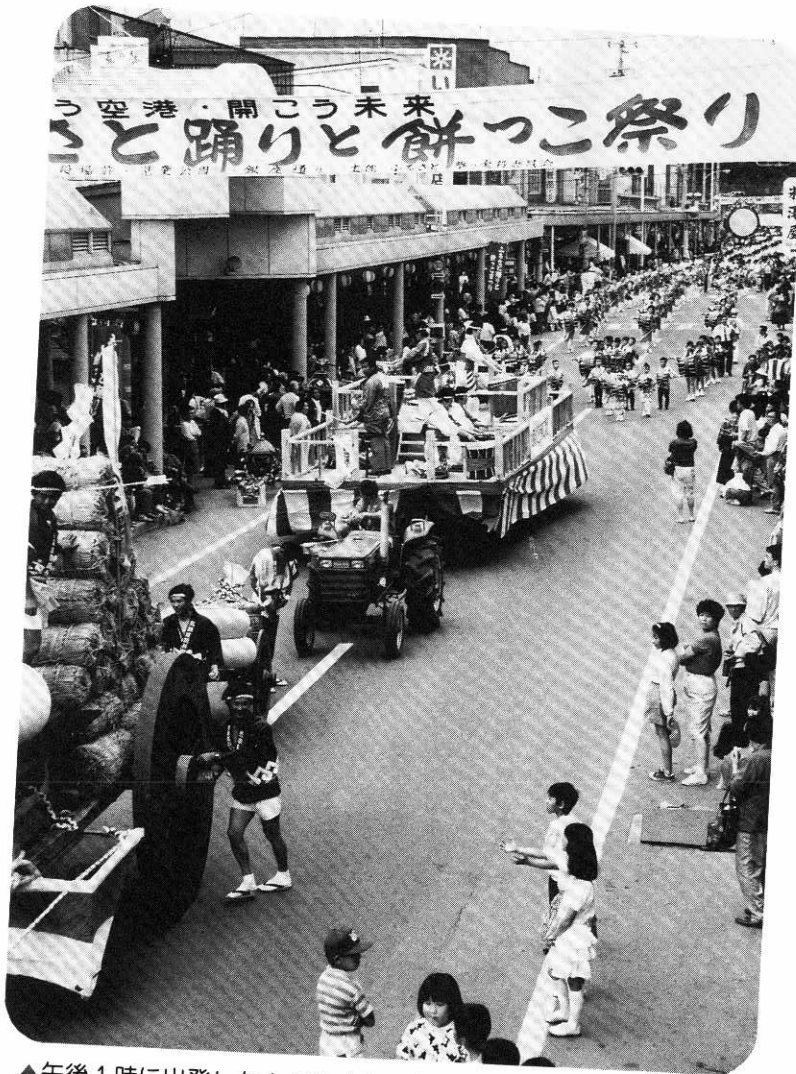


神成 裕さん(鷹巣出身)
株関東医学研究所代表
取締役



みんなのエネルギーをひとつにして「誇れる郷土を」

第6回



▲午後1時に出発した1,300人もの大行列が延々2時間かけ、最後のメインストリートにさしかかる。汗ばむ陽気のなか、沿道は人・人・人で埋まった

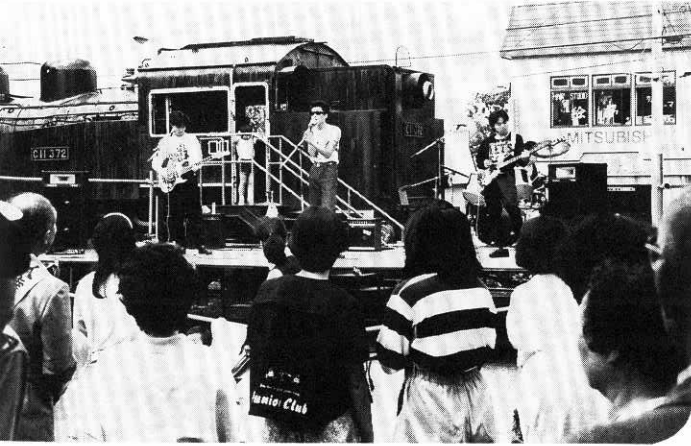


◀おなじみの餅の即売会。用意した五千パックはアツという間に売れてしまいました

ふるさと踊り
餅つこまつり

終
日

大
ブ
イ
ー
ズ



◀今回は多彩な催しが企画され、このロックフェスティバルでは、若者の人垣ができるほど

▼初登場となった1年生による「子供太鼓」。そろいのユカタにハチマキ姿のいで立は、かわいらしさも手伝い一番人気を集めたようです。



▲人力車やオープンカーに乗った今年の「ミス大太鼓」は、須釜京子さん(20)、柴田真由美さん(21)、藤島ルリ子さん(21)の三人。ミスの笑顔がパレードに彩りを添えた



- 16日(水) 秋田県建具展が九年ぶり二回目として、鷹巣体育館で開催され、指物師たちの粋を集めた展示に目を見張った。
- 17日(木) 東京で全国道路利用者会議の総会があり会議の常任理事として出席した。
- 18日(金) 第二十六回町内小学校交歓陸上競技大会であいさつを述べ、大館人権擁護委員協議会にも出席した。
- 23日(水) 大館能代空港設置のため、県及び期成同盟会として三十三万八千余人の署名簿を提示し、運輸大臣等に陳情した。
- 24日(木) 綴子地区農免農道促進期成同盟会の総会を開催した。
- 25日(金) 全国雪寒地帯対策協議会が東京で行われ出席した。翌二十六日は首都圏在住の鷹巣町出身者及び誘致企業側との懇談会を行った。
- 27日(日) 大館北秋田地区水防訓練に出席し、出水期を控え、激励のあいさつを述べた。
- 28日(月) 北鹿畜産基地推進協議会の総会。昭和六十二年度より北鹿二市四町で草地改良、放牧場設置等一連の事業(総額二十八億七千万円)をもって、農用地整備公団(盛岡支社)によって行われた事業は、今年度をもって終了することになった。
- 29日(火) 都市計画審議会。合川町に設置予定の「北欧の杜」に係る広域的な面での当町の都市計画の変更である。
- 30日(水) 秋田県災害遭児愛護会の総会及び全国治水大会いずれも秋田市で行われ出席した。
- 31日(木) 町の社会福祉協議会の理事会及び評議会を開催した。



町長 日誌

出川 禮

5月16日~31日

水道管の洗浄は6月18日～22日まで

作業は午後八時半から

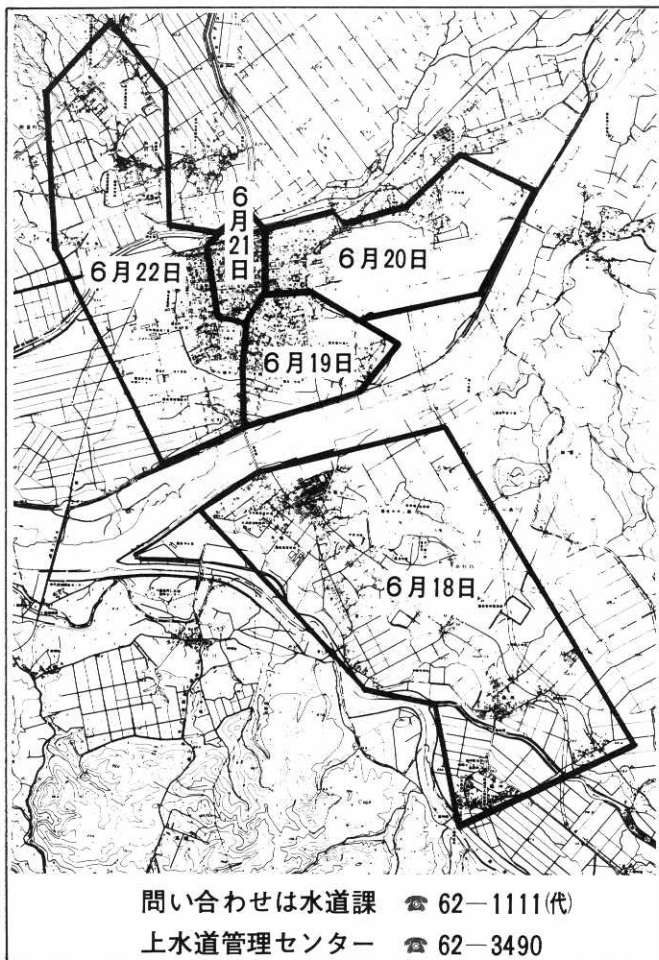
水道課では、みなさんにきれいでおいしい「水」を供給するため、配水管に付着している水アカを取る洗浄作業を年一回実施しております。

洗浄作業中は水が濁りますので、使用しないでください。また、作業車や放水の音でお騒がせすることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

作業は六月十八日から二十日までの五日間行われ、時間は午後八時三十分から午前零時までです。

洗浄は夜間の静水圧を利用して、排泥弁や消化栓から放水します。翌朝は濁りますので少し放水してからお使いください。

作業区域は次のとおりです。



▽18日 南鷹巣、舟場、堂ヶ岱、高村岱、西陣場岱、藤株、脇神、上野

▽19日 東横町、宮前町、花園町七番～二〇番、旭町二番～一四番、舟見町・新舟見町の一部、伊勢町

▽20日 花園町一番～六番、旭町一・二番、材木町、あけぼの町、太田

▽21日 松葉町、住吉町、駅裏

▽22日 元町、大町、米代町、中岱、幸町、内幸町、舟見町、新舟見町の一部、平成町、東上綱、下家下、南中家下、本屋敷、深閑、新田中、佐戸岱、高丁場、松葉町の一部

ご協力ありがとうございます

8万人を超えた署名・世帯募金総額は2百83万円

(5月31日現在)

これは空港の早期実現を願う町民の熱意の結集であります。特に募金については、これまでの各種募金を上回る額で町民の方々に協力いただいた結果だと思えます。

このあと協議会では各企業、団体等に特別募金をお願いする予定です。この中で、商工会独自で特別会計を組み、1千万円を目標に特別会費をお願いして空港建設促進協議会に提出することになっています。

第6次空港整備5カ年計画の組み入れを主眼に、さらに強力な宣伝活動、陳情を展開しなければなりません。今後とも絶大なる支援をお願い申し上げます。

大館能代空港建設促進鷹巣地区協議会

おしらせ

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

- ▽日程 六月十八日
- ▽受付時間 午後零時三十分から一時（終了時間三時）
- ▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防
- ▽持参品 印鑑、歯ブラシ
- ▽場所 中央公民館保健相談室

健康大学を 受講してください

今年度「健康大学」の開設は、七座地区を対象に行います。

開設日程、内容は次のとおりですので、ぜひ受講してください。

- ▽7月12日 豊かな消費生活について（役場保健課衛生係）
- ▽7月12日 生きがいある暮らし（阿仁町立病院・黒川一男氏）
- ▽8月2日 すこやかな老後をめざして安全な体力づくり（日本レクリエーション協会・近江谷勇氏）
- ▽8月30日 野外活動（歩こう会・健康体操）、生活に必須

要な医療問題を知る（役場保健課国保係）、総合検診の結果について（北秋中央病院・田村豊一氏）

▽10月25日 外国（ネパール）から学ぶ健康づくり（鷹巣保健所長・岩尾昌子氏）、体験発表楽しく生きる「私の秘訣」（受講生から）、閉講式

※時間は午後一時から三時三十分まで、場所は七座健康増進センターです。

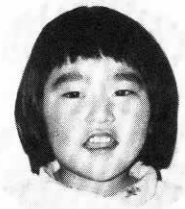
※毎回、運動できる服装で参加してください。

※三回以上受講された方に終了証書と記念品を贈呈いたします。

自動車税は七月二日まで

平成二年度自動車税の納期限は、七月二日です。
お忘れのないよう、金融機関等に納税してください。

虫歯のむい子



住吉町・佐藤淳子ちゃん



大町・佐藤歩ちゃん



南鷹巣・加藤祐介ちゃん

山菜採り、急がずあせらず

ゆっくりと安全運転

鷹巣警察署

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

6月	曜日	医療機関名	電話番号
16	土	としま医院	62-1267
17	日	盛岡医院	62-1101
18	月	近藤医院	62-1263
19	火	北秋中央病院	62-1455
20	水	奈良医院	62-1146
21	木	佐藤外科消化器科医院	62-1420
22	金	藤原医院	62-2882
23	土	佐々木産婦人科医院	63-0105
24	日	としま医院	62-1267
25	月	奈良医院	62-1146
26	火	戸嶋産婦人科医院	62-1123
27	水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
28	木	近藤医院	62-1263
29	金	盛岡医院	62-1101
30	土	北秋中央病院	62-1455

(急患以外は受けません)

春の一斉清掃巡回指導日程表

月	日	実施地区
6月	18日(月)	旧鷹巣地区
6月	19日(火)	綴子、坊沢、七座地区
6月	20日(水)	沢口、七日市、栄地区

【清掃重点事項】

- ◎家屋内外の清掃を行なうこと。
 - ◎家畜飼育農家は、堆肥場周辺及び、畜舎等内外の清掃を行なうこと。
 - ◎生活雑排水の自己管理を行なうこと。
- ※ 側溝ドブ上げ清掃については、「春のクリーンアップ」で実施済ですので、今回は実施しないでください。
もし、実施した場合は自己処理してください。
- ※ 生活雑排水の自己管理については、台所、浴槽から排出される固形物のゴミ類は、側溝の詰まる原因となります。
十分注意して排出するようにしてください。

心豊かでねばり強い子 家庭と学校の連携で



「近頃の子どもは口は達者だが、あいさつ一つできない」とか「自分勝手に他を思いやる心が足りない」「ねばり強くやり通す力が足りないのでは」など、子どもをめぐる論調にきびしいものがあります。学校では、「家庭でどんなしつけをされているのか」といぶかり、家庭では「学校におまかせしているのだから、もっと厳しくしてくれたらよいのに」。

「ごく一般的にみると、これは鷹巣町に限らず全国的な風潮とみることができるようです。それなら、学校と家庭がそれぞれ、それぞれの働きを生かして連携して教育したらどうか。というので、文部省から研究指定を受けたのが中央小学校であります。（昨年度から三年間）心豊かでねばり強い子を、」

を研究主題にし昨年度は「思いやりのある心をもった子どもを育てる」に向けて、学校と家庭（PTA）の取り組みが始められました。学校では道徳の授業を中心に取り組み、家庭では基本になる生活習慣を身につけさせることに力をそそぐことにし着々実践にうつされてきています。

昨年十一月十五日、第一回学校家庭連携推進委員会が開かれ（PTA役員と学校職員）進め方について話し合いがなされPTA中心にさまざまな実践の試みがなされています。その中の一つに……

「三あ運動」の展開
 ▼あいさつ
 ▼あんぜん
 ▼あとしまつ
 が家庭生活での実践課題にとりあげられ、文字通り地域ぐるみの子育て運動に発展しつつあります。

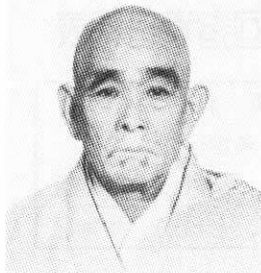
特に、それぞれの家庭で、家族同士のふれあいや、役割分担の中で育っていくもの。向う三軒両隣といった隣近所のふれあいの中ではぐくまれるもの。あいさつ、言葉がけのように町内（部落）ぐるみで取り組まないと効果が期待できないもの。などあつてPTA、親の会の内輪だけの活動から、地域ぐるみの活動に大きく目が向けられてきているようであります。

同時に、小学生だけでなく下は幼稚園保育所、上は中学生、高校生に対する呼びかけも、今後の実践から必要になることが予想されます。

ふるさと人物伝

佐藤 芳雄

一八九九—一九八九



七日市、龍泉寺二十四世大機芳雄大和尚は勉強家で世話好きで、社会教育に根ざした宗教活動をされた方であった。明治三十二年生れの彼は十三歳で仏門に入り、大正六年曹洞宗大学林（現駒沢大）卒業、福島県や神奈川県内の寺院僧堂で講師を勤め、昭和五年父法林和尚の逝去により帰郷し龍泉寺住職になる。

時代にピアノやバイオリンをやった彼は御詠歌梅花流師範でもあり、その普及につとめ、この地方は御詠歌の先進地となった。幼児教育や婦人会活動への指導助言。教区会長としては宗教関係法律改正に伴う難しい事務手続きを一手に引き受け処理された。

大正六年七日市大火で焼けた本堂を再建。位牌堂の新築落慶。権大教師位補任。昭和五十年七月、引退して弟子の息子忠雄和尚にゆずるが、二カ月後に忠雄は急逝、七十七歳で再任する。それからの彼は「正法眼蔵」七十八巻をはじめ、古くてぼろぼろになった典籍を借りてきてはきれいに書写し製本する仕事を毎夜、三時〜四時まで続け、数百巻を残している。

昭和六十二年、弟子の孫俊晃和尚にゆずって引退、平成元年示寂九十一歳「頑固で厳しい祖父であったが仏門ではすばらしい師であった」と俊晃和尚は語る。

（秩父威仙、山城忠治、佐藤俊晃談） 文 長崎 久



竜ヶ森山開き

6月1日に当町と比内町の町境にそびえる竜ヶ森(1,049㍍)の夏山シーズンを告げる「山開き」が、両町合同で行われました。東又登山口を9時に出発した一行30人は、10時すぎに山頂に到着。あいにくのくもり空で眺望はきかなかつたもののブナ林や、かれんな花を咲す山野草に自然を満喫。気軽に登れる竜ヶ森にあなたも行ってみませんか。

「夢の新素材、イタリア製の「スーパーX」が6月5日より、競技場のトラックに張り始められました。使用されているのは東北でも数カ所、もちろん県内初。アスファルトの上に特殊な接着剤で張りつけられる「X」は、弾力があり足への負担も少ない。パルセロナオリンピックにも使用される素材だけに、七月の完成が待たれます。

オリンピックを鷹巣で!?



縄文時代にタイムスリップ

「古代の息吹とロマンを求めて」をテーマに5月29日、南中学校2年生102人が土器の野焼きをしました。同校の伝統行事となっているもので、昨年8月に作製したツボや皿、土面など古代人が火をおこすときに用いたと思われる道具で種火をとり、覆っている木材に点火。生徒たちは燃えあがる炎に、5千年のいにしえをしらべていました。



6月2日、中央小学校の5年生38人による田植えが行われました。体験学習の一環として実施

しているもので、子供たちは肌寒い天気にもかかわらず素足のまま元気いっぱい。初めて苗を手にする子が大半でしたが、父兄の指導で見守る間に上達し得意顔。秋には、この田んぼで取れたモチ米で収穫感謝祭を行うそうです。

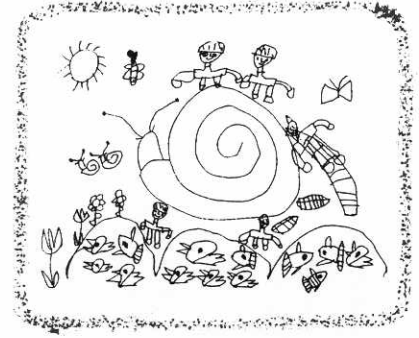
学校田は大にぎわい



の広場



北幼稚園
ふじがき しゅうとちゃん
(5歳)



四月二日の辞令交付と同時に、社会人としての自覚を持ち、現在、自分の希望した職場で頑張っています。
何をやるにも初めてという事ばかりで、仕事の面や人付き合いの面でも分からない事ばかりなので、一日も早く慣



李 岱 市成さん(18歳)

県職員としての自覚

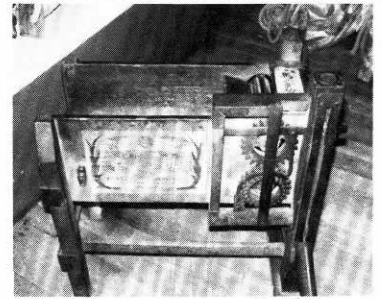
今月のテーマ

『社会人一年生』

れるように努力しています。
四月十六日に行われた研修では、県職員としての在り方や、文書の取り扱い等の仕事をしていく上で大切な事ばかりを学びましたが、この研修だけで全て覚えることができた訳ではないので、毎日の出来事の中から自分で必要な事を見付け出し、覚えていかなければならないと思います。
社会人になって思ったことは、自分の行動に責任を持つと同時に、自分の事だけを考えるのではなく、相手の事も考え、助け合っていく事が大

対談

わたしたちの意見



馬ぐさ切り機

歯ざりよく、きざまれる

馬や牛などの飼料とする干し草を、こまかくきざむ機で、馬草を押し木と刃物との間に入れて、手で押し切る。ザックザックの歯切れの音でこまかくきざみこまれていく。糞なども切って飼料にまぜた。

(松葉町・佐藤 富雄さん)



わたしの自慢は 絵は生涯の良き友達

新田中・金 沢 エ ミさん(60歳)

第一回町展で、私の作品が思いがけない入賞で、驚いて居ります。

体が弱かった私は、小学生の頃から絵は大好きな教科の一つでした。子育ても終り、何か老後の楽しみがないものかと考えて居りましたところ、今から十五、六年程前、展覧会である先生の描いた日本画の美しさに驚き且つ興奮し、時のすぎるのも忘れて立っていた事を、今も鮮明に記憶して居ります。

その翌年から、公民館の

講座に通い始めたのが、私の絵の始まりです。時には厚い壁に突当り、座折しそうになった時もしばしばありましたが、曲りなりにも今日まで続けて来れた事、又絵を通して町、県内の素晴らしいお友達とも廻り逢えた事、どんな小さな美しさにも感動し、絵は私の心の栄養剤であり、又、大切な宝物でもあります。
特に第二十九回展に応募し、初入选した時の喜びは、又ひとしおでした。
ご指導下さった諸先生始め、先輩の方々には本当に感謝致しております。まだまだ未熟でございますが、私の体力の続く限り、生涯絵を良き友達として楽しみながら、描き続けて参りたいと思っております。



北幼稚園
いとう かやこちゃん
(5歳)



みんな



わが家のアイドル



高橋 健弘ちゃん(昭和63年10月2日生)
辰弘・あゆみさんの長男 … 高野尻
健康で弱い人を助ける人になってほしい。
将来はプロ野球の選手かな。(お母さん)

今春鷹巣高校を卒業して、「マルキチ薬店」のお店で働いております。
入店したての頃は、覚える事が多く何もかもが目まぐるしく過ぎて行きました。最近では、ほんの少しですが自信がつき、余裕も出てきました。



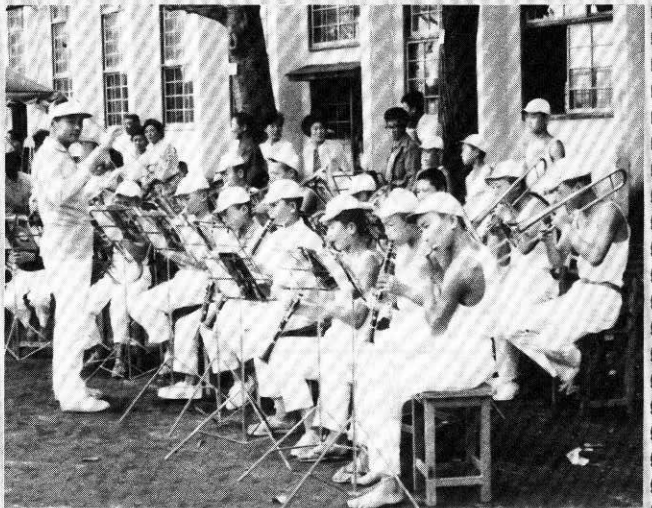
前野町
石川めぐみさん(18歳)

切だという事です。
この気持ちを忘れず立派な社会人になるよう、一生懸命努力していきたいと思えます。

お客様を大切に

また、職場の方たちも、いい人ばかりでたいへん親切にしていたいております。
私の主な仕事は、化粧品品の販売です。化粧品の種類は、数が多くお客様のご要望に、満足いただけるように、上手に説明するのは、まだまだ未熟者です。先輩を見習って、これから、もっと勉強していきたいかならばと思っております。
高校時代と異なるのは、人間関係の年齢層が幅広いこと、そして、自分が発した言葉、行動の責任です。
覚える事がたくさんあって大変ですが、ご利用いただいているお客様の少しでも役に立てますように、一生懸命頑張りたいと思えます。

昭和37年の南中運動会での吹奏楽部である。部が誕生して間もない頃で、特訓に特訓を重ね初披露となった。行進曲を得意とし、グラウンドいっぱいに流れるメロデーに心が踊ったものである。いつの頃からであろうか、女生徒の進出で、男子が「消えて、しまった。」



たかのすの昔



あしらせ



六月の健康相談

六月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十七日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は**慢性病予防教室**で、ビデオによる健康教育「痛風とリウマチを予防する日常生活」について行います。

場所は中央公民館保健相談室です。

◇ **リハビリ学級**は二十日です。

在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。場所は湯の岱温泉です。

四カ月児健康診査、七カ月児健康相談と離乳食指導は十六日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四カ月児健診 平成二年二月生まれ、受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七カ月児健康相談と離乳食指導 平成元年十一月生まれ受付時間は午前九時三十分から十時までです。

母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

※場所は中央公民館ホールです。

◇ **育児相談**は十五日です。

子供の健康、発達の不安、アトピー性皮膚炎で悩む母親を対象に行います。

▽住吉町 奈良幸恵さんから拾得金謝礼として一万二千元

受付時間は午前九時三十分から十時までです。場所は中央公民館保健相談室です。

はしかの予防接種

はしかの予防接種を六月十九日から二十二日まで行います。

対象者は二年六月十九日現在で、生後十二カ月から三十六カ月になる幼児（ただし七十二カ月に至る幼児も受けられます）一回接種で完了です。

なお一カ月以内に予防接種を受けた幼児は接種できません。また、以前「はしか」及び「M・M・R」接種を受けた幼児は対象外となります。

接種券をお持ちの方は、忘れないで次の担当病（医院）を受けてください。

▽19日 北秋中央病院

▽20日 奈良医院

▽21日 藤原医院

▽22日 としま医院

接種時間は午後一時から二時までです。

善意

▽住吉町 奈良幸恵さんから拾得金謝礼として一万二千元

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽松葉町 石岡裕邦さんから亡父喜正さんの香典返し

▽七日市本郷 千葉忠男さんから亡母チヨさんの香典返し

▽東横町 清水多市さんから亡母サキさんの香典返し

▽花園町 近藤せいさんから亡夫金正さんの香典返し

▽旭町 小塚美喜雄さんから亡母サキさんの香典返し

▽綴子大畑 小笠原進さんから亡妻京子さんの香典返し

慶弔だより

—敬称略—

5月16日 / 5月31日

■誕生おめでとうございます

桜庭 謙人(元広 長男 新舟見町)

岩谷 大地(寿) 二男 下町

高橋 佑典(貞二) 二男 元町

戸賀瀬 萌(洋一) 二女 新舟見町

小笠原健太(義輝) 三男 前山

谷地田佳澄(信美) 二女 吉野

小林 武史(進) 長男 舟見町

■三人の前途を祝福いたします

(三) 浦 勝 南鷹巣

(佐) 藤 美千代 大堤

(工) 藤 敏明 南鷹巣

(中) 嶋 真由美 材木町

(畠) 山 久義 あげぼの町

(武) 田 かよ子 今泉

(藤) 田 清人 高村岱

(山) 田 百合子 阿仁町

(成) 田 勇光 四渡

(岩) 谷 睦子 松葉町

おくやみ申しあげます

小笠原京子(37歳) 大畑

堀内 悦子(31歳) 南田中

清水 サキ(96歳) 東横町

千葉久太郎(77歳) 岩脇

小塚 サキ(83歳) 旭町

出川 米蔵(78歳) 糠沢

桜庭 ミヤ(87歳) 東横町

河田 クラ(77歳) 元町

町県民税一期の

納期限は六月三十日です